

創薬シーズ相談会の実施について

医学系大学産学連携ネットワーク協議会
(公財)都市活力研究所

創薬シーズ相談会とは

medU-net会員である研究者の保有する創薬シーズについて、製薬企業の研究者から創薬に向けてのアドバイス・意見をもらうコミュニケーションの場

- * medU-netと(公財)都市活力研究所との共同開催
- * 近日中にmedU-net事務局より相談受付案内をメールにて配信
- * 第1回の相談会受付を4月、相談会の開催は5月～7月を予定
- * 以後、相談会受付件数、相談会実施状況を見て継続して実施
- * 秘密情報は扱わない
- * 相談会の後、製薬企業との共同研究に発展することを期待

相談会開催イメージ

- 東京会場 (medU-net)
東京医科歯科大学にて
製薬企業とシーズ保有者
- 大阪会場 (都市活力研究所)
グランフロント大阪にある都市活力研究所にて
製薬企業とシーズ保有者
- シーズ保有者は東京・大阪いずれの会場でも可
- 東京と大阪をテレビ会議システムで接続

相談会開催のフロー

- * Step1 相談申込(medU-net事務局へ)
- * Step 2 日程調整等(都市活力研究所)
- * Step 3 相談会開催(medU-net事務局、都市活力研究所)
- * Step 4 個別質問集約とフィードバック(都市活力研究所)

Step1 相談申込(medU-net事務局へ)

- * 当面は受付期間を設定いたします。
- * 所定の書式によりmedU-net事務局へお申込みいただきます。
- * 相談案件が対応出来る案件かどうかを検討させていただきます。
創薬シーズ、創薬基盤技術に限定。医療機器などは不可能

Step 2 日程調整等(都市活力研究所)

- * 相談会開催の通知を(公財)都市活力研究所より行います。
- * 相談者の都合を第一優先に、会場の空き状況を鑑み日程調整を(公財)都市活力研究所がいたします。
- * 相談者の方は、相談会開催当日東京会場または大阪会場にお越しいただきます。
- * **秘密情報を含まない**プレゼン資料の用意
 - * 開催1ヶ月以上前までにシーズの概要がわかる資料をご用意願います。
 - * 相談委員の方々に事前に配布いたします。

Step 3 相談会開催

(medU-net事務局、都市活力研究所)

- * 開催当日、相談者の方は、東京会場または大阪会場にお越しいただきます。
- * 開催時間は16:00-17:30(原則)
 - * 発表20分、質疑応答70分
- * 東京と大阪をテレビ会議で中継します。
 - * 大多数の相談委員の方(製薬企業の方)は大阪での参加

Step 4 個別質問集約とフィードバック (都市活力研究所)

- * 開催当日のコメントやアドバイスを事務局(都市活力研究所)がまとめます。
- * 開催後に頂いたコメントやアドバイスを事務局(都市活力研究所)がまとめます。
- * 開催後1ヶ月を目処に、頂いたコメントやアドバイスを事務局(都市活力研究所)がまとめて相談者にフィードバックします。

相談会参画製薬企業

味の素製薬(株)、アスピオファーマ(株)、小野薬品工業(株)、
参天製薬(株)、塩野義製薬(株)、第一三共(株)、
大日本住友製薬(株)、武田薬品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、
東和薬品(株)、日本新薬(株)、日本臓器製薬(株)、
扶桑薬品工業(株)、丸石製薬(株)、マルホ(株)

創薬シーズ相談会風景



創薬シーズ相談会開催実績-1

1	2010/12/24	アシュワガンダ由来化合物による癌治療薬の発明
2	2010/12/24	パーキンソン病モデルマウス及びその作製方法並びに該マウスを用いたパーキンソン病治療薬のスクリーニング方法及び評価方法
3	2011/3/22	次世代抗体医薬: 立体構造規制ペプチド・ライブラリーによる分子標的ペプチド(マイクロ抗体)の創出
4	2011/4/22	MicroRNAを用いて腫瘍血管特異的に血管の完全破壊を誘導する薬剤送達システム
5	2011/6/13	モデルマウスを利用した治療薬スクリーニング
6	2011/9/6	ストレッチ感受性イオンチャネルTRPV2を標的とした筋変性疾患治療薬の開発
7	2011/11/18	DNA修復遺伝子発現のRNAiによる抑制と癌細胞の放射線、抗癌剤感受性増感効果
8	2012/3/8	インターフェロン α を制御する分子医薬の開発
9	2012/3/22	血清を用いた乳癌検査キット: 血清GP88サンドイッチELISAキット
10	2012/5/17	癌治療薬としての放射線増感剤SQAGの開発
11	2012/7/20	皮膚内溶解型マイクロニードルを用いた経皮ワクチン製剤
12	2012/9/10	薬剤排出を抑制する薬剤

創薬シーズ相談会開催実績-2

13	2012/12/26	炎症関連疾患の新規治療薬の開発
14	2013/1/9	生体内貼付型 薬剤封入PLGAナノ粒子 分散シート製剤
15	2013/2/28	骨がんと疼痛を同時に抑える新規白金抗がん剤
16	2013/2/28	シスプラチンをプロドラッグとする新作用・低副作用新規白金・パラジウム抗がん剤
17	2013/5/8	腎癌に対する新しいペプチドワクチン
18	2013/11/12	ヒトiPS/ES細胞の品質管理、標準化および選択的除去に有効な新規マーカー抗体の開発
19	2013/12/6	新規バイオ医薬ピロール・イミダゾール(PI)ポリアミドの創薬開発
20	2014/6/17	Claudinを標的とした創薬基盤技術
21	2014/7/2	インフルエンザウイルスと結合する糖鎖修飾核酸
22	2014/8/19	新規物質アシルプルンバギンの抗がん・抗炎症活性
23	2015/1/22	ヒストン脱メチル化酵素LSD1を選択的に阻害する抗がん剤の開発

アドバイスの事例

大学の研究としてやるべき範囲としては、コンセプトの実証研究だと思います。候補物質を腫瘍血管特異的DDSに包含して、担癌動物モデルで腫瘍血管特異的に血管破壊が起こり、癌が縮小するかどうかというところがポイントかと思います。

シアル酸転移酵素と成長ホルモンとの関連を分子メカニズム解析することが疾患との関連性の解明や創薬のターゲットへのアイデアにつながる可能性があると思われます。

企業としては、どういう疾患(領域)に使えるかが事業性評価の観点で重要となりますので、有効性を検証していく上でどの疾患が最も有望か検討される方がいいと思います。

本シーズは汎用性を持っているのかがポイントとなります。まず、いくつかのターゲットで検証し、それらを特許出願して、カタログ化をすることが、次のビジネスの展開につながるのではないのでしょうか。

基礎面、特に作用機序の検討を進めていただければと希望します。企業から見た場合、作用機序が明らかになればどのような使い方ができ、どういった疾患に適応拡大できるか、より具体的なイメージを持つことができます。

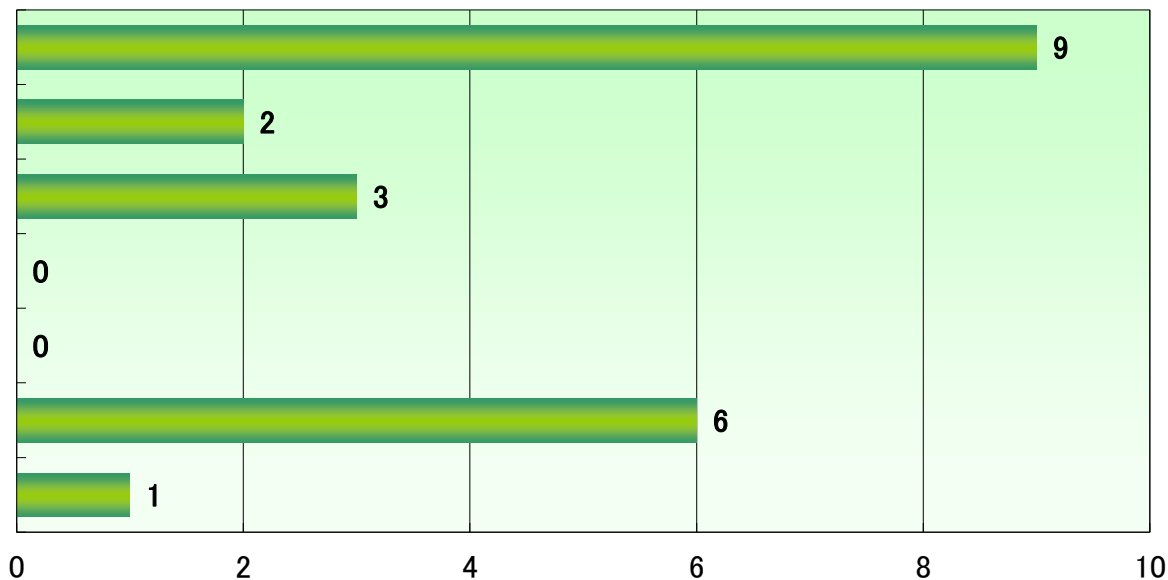
創薬シーズの追跡調査

2014年3月31日時点

「シーズ相談会のその後の調査」

【選択項目】

- 1. アドバイスを頂いた方向で研究を継続
- 2. 紹介頂いた企業などとコラボレーション
- 3. 製薬企業と共同研究
- 4. 製品化に向けベンチャー企業を起こした
- 5. ライセンスアウトした
- 6. 特になし
- 7. その他



【回答数】

(公財)都市活力研究所について

<http://urban-ii.or.jp/>

□ミッション:

産業振興とまちづくり

-都市と産業の活性化を図り、大阪ひいては広く関西の都市活力の向上をはかる-

□活動領域

バイオとくに創薬とITに注力

□活動内容(バイオ)

スパコン「京」の創薬PJ(バイオグリッドセンター関西の事務局として)

人材育成(セミナーなど)

□設立

1989年(平成元年)4月8日阪急電鉄をはじめとする民間企業10社により「財団法人千里国際情報事業財団」として設立

2009年(平成21年)4月1日「財団法人都市活力研究所」に名称変更

2011年(平成23年)4月1日「公益財団法人都市活力研究所」に移行

□役員構成

産(関西経済連合会、大阪商工会議所)、官(大阪府、大阪市)、学(大阪大学、関西学院大学)の方々に役員として活動をサポートしていただく

□職員:13名